



先行一杯
後方儘



ippaimama

<今週の予想>

◎6番ダノンミル

○15番デボネア

▲5番ナカヤマナイト

△13番リベルタス

×15番トーセンラー

ふう。まったく冒頭で毎度毎度「今度こそは当てたいものである（キリッ）なんてことをほざき続けて、この予想もはや7回目。まったく、いくらへっぽこ予想を名乗っているといたって、ここまで外しまくっていいもんじゃない。それにこの「あー外した!」「今度こそ!」という叫びは、まさに巷に溢れる（ダメな）競馬ファンの行動そのものである。いくら灰色の馬券親父どもに恋してる俺といっても、まだまだそこまで老け込みたくないもんだよ。競馬は直感と攻めよね、うん。まあそれでここまで外してきたわけだけれど。

ところで、某匿名掲示板のスラングに「逆神」というものがある。これは勝ち馬を射止めることと限りない予想神の対義語であり、そいつに二重丸をつけられた馬は確実に凡走するというある意味で凄い予想家さんたちにつけられる。といっても当然、この人達は外そうと思って外しているわけではない。むしろ、彼らは往々にして、競馬の「へりくつ」をこねくり回すことにかけては非常に長けていらっしゃる。だがどんな結局は理屈があったって、「感覚」的などのチューニングが上手くいっていないと、当たり馬券はするりと指と指の間を滑り落ちていくだけなのだ。こうなるとは、なかなか好調に立て直すことは難しい。そのまま「終わって」しまう予想家の人も多いただろう。

さあ、ここで問題なのは、今俺の感覚がどんくらいダメかってことである。これから長いGIロード（なんてったって、安田記念まで7週連続GIがあるのだ）、不調のまま無理に出張ってみたところで就活で順調にすり減っている貯金の残高がさらに寂しくなるだけだ。良いことなんてひとつもありません。のんびり家でポテチでもつまんでた方がマシではないか。

ならばこの皐月、ひとつ運試しというか、カン試しをやってみよう。普段はこねくり回す理屈は適当にしといて、直感だけで印を打つ。来てくれたら、嬉しいねえ。ダメだったら、ダービーまで馬券は買わないでおこう。あ、でも予想はするよ……たぶん。

で、本命はダノンミル。川田→中館→浜中ときて、この大舞台で内田博に乗り替わり。それだけ。あ、あと母母ミルレーサー（フジキセキの母）てのも個人的にはツボだ。……まあこれは理屈だが、若葉S前日の準OPの時計が2:02.2。この馬は1:59.1で走ってるから、時計的な裏付けは一応ある、といっても今回は重馬場なんだがさ。直線が長い府中でどう乗れるかも課題。個人的

には、中山開催なら自信满满での大本命が打てただけどなあ。……って、これらの悪い予感もカンだよな。どうしよう、印下げようかしら。……まあいいや、このままでいこう。とにかくザッと出走馬を見渡したとき、こいつが最初に浮かんできたのだ。今回はもう、それだけで十分。

弥生賞組からはデボネアをピックアップして対抗へ。あのペース・着差・上がりなら、上位陣にそれほどの差があるとは考えにくいし、前々走でも後ろからの馬で一頭だけ上手く乗って、2着に来ているから立派。それでこの人気なら、外枠でもついつい手がついでちゃうよ。クラシックのトライアルって、1着と2着・3着で着差あんまなくても、人気はすっごく差が出来たりするよね。これはお買い得感を煽って、カモ達に外れ馬券を買わせようとするJoAの陰謀だと思うんだ。今回もきっちり引っかけさせてやるぜ！←発狂)

ナカヤマナイトは、前走は1頭格が違う競馬をやっている。たぶんまともに予想すれば◎をきっちり打てる馬だ。だがしかし、鞍上柴田善臣ってのはヤヴァイ。もうこの事実だけで、日本中の競馬ファンがこいつの取捨にアタマを悩ませざるを得なくなってしまった。いや、別に柴田善臣騎手は普通に上手いんですが、やっぱりイメージとしてどうも……はッ、これもネット上で柴田騎手のネガキャンを続けることで彼の馬券を無意識に避けさせ、カモを増やそうというoRAの陰謀か！←くどい) そうとわかれば完全に切ることは難しい、▲くらいは回しておこうか。

そのほか、気になったのは以下の2頭。リベルタスの前走はもうダメダメだけれど、朝日杯ではよく前で踏ん張っている。わりと脚元があれな馬なので当日の気配次第だが、調教は動いてきたようだし一発も。トーセンラーは前走強い競馬ができた。だけれど今回はちょっと人気しすぎかな、500万下での連敗もクラシックではどうだろうか？まあ、何年か前に未勝利脱出に6戦かかったダービー馬もいらっしやいましたが、ひとまず×止まりということによろしく。

本予想によって生じた損害等には、一切の責任を負いません。

<今週のてきと一雑感>

ううう。今回の予想は酷く発狂してしまったわけですが、おいらの脳みそではパンパンの高速馬場ばっかだった今回のトライアルの結果から、東京・渋った馬場のこのコースで走りそうなお馬を探せなかっただけです、はい。ちょっと痛ィ痛ィ、石投げないで！……結果として三流芸人みたいな文章で終わりましたが、まあ競馬予想人としての腕は御覧の通りなんでそのあたりは許してくださいな。

というより、この予想、なぜかページビューが毎回100回越え、PDFダウンロードも10回以上。個人的にはこのへっぽこ予想をわざわざPDFで落として読む理由がわからないんですけど、あれですか。もしかしてリアルの知人・友人の間で密かにばれてて、落とされたのち回し読みされたりするんでしょうか。そうだったらなんか怖いなあ。

とまあ、見ての通りぐだぐだだったまま、気付けば雨も降り止んだ様子。そろそろ終わりたいと思いますが、読者の皆様、いつもありがとうございます。今後も呆れ果てられない程度に頑張りますんで、たま～に思い返したように見に来てくだせえ。

本予想によって生じた損害等には、一切の責任を負いません。